

【主担当部局：教育委員会】

県民の皆さんとめざす姿

子どもたちが「学ぶ喜び」、「わかる楽しさ」を実感しながら、主体的・協働的に学び、自らの夢や希望をかなえられるよう、指導方法および指導内容の工夫・改善や、学校・家庭・地域が一体となった取組が充実することにより、他者と協働しながら、社会を生き抜いていける、確かな学力と社会への参画力が育まれています。

平成 31 年度末での到達目標

学校における指導方法の工夫・改善や家庭・地域と連携した取組が進むことにより、子どもたちが「学ぶ喜び」、「わかる楽しさ」を実感し、意欲的に学んでいます。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度	29 年度		30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
全国学力・学習 状況調査において全国平均 を上回った教科 数(注)	/	2	4		10	8 (全教科)
	0	2			/	/
目標項目の説明と平成 30 年度目標値の考え方						
目標項目 の説明	教科（小学校国語 A・B、小学校算数 A・B、小学校理科、中学校国語 A・B、中学校数学 A・B、中学校理科）の平均正答率において、全国平均を上回った教科数					
30 年度目標 値の考え方	社会に出る子どもたちが、義務教育段階の学習内容を卒業までに確実に身に付けられるよう、少しでも早く取り組んでいくため、目標値を設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度	29 年度		30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
22101 学力の育 成 (教育委員会)	授業内容を理解 している子ども たちの割合	/	小学校国語 83.5%	小学校国語 85.0%		小学校国語 86.5%	小学校国語 88.0%
			小学校算数 83.0%	小学校算数 85.0%		小学校算数 86.0%	小学校算数 88.0%
			中学校国語 77.0%	中学校国語 78.0%		中学校国語 79.0%	中学校国語 84.0%
			中学校数学 75.8%	中学校数学 76.2%		中学校数学 76.6%	中学校数学 77.0%
		小学校国語 82.2%	小学校国語 81.4%			/	/
		小学校算数 81.3%	小学校算数 82.6%				
		中学校国語 76.3%	中学校国語 75.4%				
		中学校数学 75.4%	中学校数学 74.9%				

活動指標		27年度	28年度	29年度		30年度	31年度
基本事業	目標項目	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
		22102 グローバル教育の推進 (教育委員会)	海外留学(短期留学を含む)や海外研修等に参加した高校生の数		368人	460人	
		350人	457人				
22103 キャリア教育の推進 (教育委員会)	地域等の人材を招へいした授業等を行っている学校の割合		小学校 84.0% 中学校 65.5% 高等学校 100%	小学校 85.0% 中学校 67.0% 高等学校 100%		小学校 86.0% 中学校 68.5% 高等学校 100%	小学校 87.0% 中学校 70.0% 高等学校 100%
		小学校 82.9% 中学校 64.0% 高等学校 98.5%	小学校 88.4% 中学校 74.2% 高等学校 100%				

注) 全国平均を上回った教科数：全国学力・学習状況調査の教科に関する結果は、学力の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどに留意しつつ、児童生徒や学校への質問紙調査の結果と合わせて総合的に活用することが重要です。

## 現状と課題

- ①平成 29 年度の全国学力・学習状況調査の結果は、小中学校合わせた 8 教科中 7 教科が全国の平均正答率を下回りました。一方で、平均無解答率は、小中学校合わせた 8 教科中 6 教科で全国平均よりも低い状況であり、粘り強く最後まで頑張ろうとする子どもたちの姿が見られます。質問紙調査結果では、家庭での学習時間やスマホの使用時間に引き続き課題が見られました。これらの課題をふまえ、組織的な授業改善の取組や、家庭・地域の連携による子どもたちの基本的な生活習慣や学習習慣の確立に向けた取組を一層推進する必要があります。
- ②グローバル化の進展など社会の変化に対応し、国際的に活躍できる力を育成するため、高校生が今日的な課題等について議論する「みえ未来人育成塾」や英語での多様な活動を取り入れた「英語キャンプ」を開催しました。今後は、小学校段階から英語でコミュニケーションをとりながら、国際的な感覚と広い視野を備えた人材を育成する必要があります。また、学習指導要領の改訂に伴う英語教育の小学校での早期化・教科化などに的確に対応する必要があります。
- ③県内事業所における新規高等学校卒業生の卒業後 3 年以内の離職率は高止まりしています。子どもたちが多様な選択肢の中から進路を決定する能力や態度を身に付けるとともに、地域の魅力ある仕事を知り、地域で活躍しようとする意欲を高めることが求められています。

## 平成 30 年度の取組方向

- ①全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェック等の結果から明らかになったみえの子どもたちの課題に対応したワークシート等の活用により早期からの授業改善に取り組むとともに、子どもたちがつまづきを克服できるカリキュラムの構築・教材の開発、優れた授業力を有する教員の実践に学ぶ研修会等の取組を進めます。また、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの基本的な生活習慣・学習習慣・読書習慣の確立に取り組めるよう、県民運動の周知・啓発を進めます。

- ②学力向上アドバイザーの助言等による効果的な少人数指導の実践的な授業研究の成果の普及を図るとともに、各学校の状況や課題を把握し、学校訪問や授業研究をとおして学校における課題の改善および教員の指導力向上に向けた指導・支援を進めます。さらに、教育支援事務所を中心に学校や市町教育委員会の実情に即した計画的・継続的なオーダーメイドの支援を実施します。
- ③高校生が将来、国際的な視野を持ち、さまざまな分野で活躍していけるよう、留学の促進や学校の枠を越えて議論する機会の拡充に取り組みます。また、学習指導要領改訂や大学入試における英語の4技能の評価の本格実施を見据え、英語力の総合的な育成に向けた授業改善を促進します。小中学校英語については、新学習指導要領に基づく指導が円滑に行われるよう、研修等を通じた教員の指導力の向上や効果的な指導方法の情報提供等を通じて、学校現場を支援します。
- ④高校生が地域の課題解決や活性化について主体的に取り組む機会や地域の企業で学ぶ機会の拡充に取り組みます。また、社会経済状況の変化をふまえ、国内外で活躍できる力を育成するため、海外で働くことや海外の産業の理解を深める取組、国際レベルの生産工程管理を学ぶ取組を進めます。
- ⑤子どもたちが、自分自身の良さや適性等を理解し職業に対する理解を深めた上で進路を選択するとともに、新規高等学校卒業者等が職場で自己の資質や能力を発揮しながら働くことができるよう、外部人材を活用した就職支援および職場定着支援に取り組みます。

## 主な事業

- ①みえの学力向上県民運動推進事業【基本事業名：22101 学力の育成】
  - 予算額：(29) 961千円 → (30) 723千円
  - 事業概要：学力の基盤となる子どもたちの生活習慣・学習習慣・読書習慣の確立のため、県PTA連合会と連携して生活習慣・読書習慣チェックシートを県内一斉に年2回の集中取組期間に実施し、改善につなげます。また、子どもたちが主体的に生活習慣等の改善に取り組めるよう、ポスターや標語の募集を行うとともに、学力向上に係る講演会を実施し、県民への周知、啓発を図ります。
- ②学力向上支援事業【基本事業名：22101 学力の育成】
  - 予算額：(29) 40,865千円 → (30) 37,338千円
  - 事業概要：みえスタディ・チェックを実施するとともに、みえの子どもたちの課題に対応したワークシート等を学校、市町教育委員会に速やかに提供し、各学校での早期からの授業改善の確立につなげます。小中学校において効果的な少人数指導が行われるよう、実践推進校に学力向上アドバイザーを派遣することにより、これまでの少人数指導研究の成果をふまえた授業改善の取組を推進します。
- ③(新)わかる・できる「育成カリキュラム」構築事業【基本事業名：22101 学力の育成】
  - 予算額：(29) — 千円 → (30) 4,120千円
  - 事業概要：「割合」、「図形」、「引用、要約して書くこと」、「根拠に基づき考えをまとめること」の4つの課題を克服するため、大学や国の調査官の協力を得て、小学校1年生から6年生までの指導のポイント等を示した「育成カリキュラム」を作成し、それに基づいたWEB教材の研究・開発を民間企業と連携して進めます。また、数学的思考力の育成に向けたモデル校を指定し研究を進めるとともに、小学校の教員、保護者を対象とした講演会を実施します。

④（一部新）三重の英語教育改革加速事業【基本事業名：22102 グローバル教育の推進】

予算額：(29) 3, 824 千円 → (30) 7, 997 千円

事業概要：先行実施期間を迎える小学校外国語科の指導・評価の方法について、モデル校を指定した実践研究を行います。また、中学校では4技能の効果的な指導方法について民間事業者の検定試験を活用した実践研究を行うとともに、教員を対象として実践発表や討論等を通じた研修を行います。中学生が三重の魅力を英語で一枚紙にまとめて発信する「ワン・ペーパー・コンテスト」を実施し、ふるさと三重を英語で発信できる力を育みます。

⑤世界へはばたく高校生育成支援事業【基本事業名：22102 グローバル教育の推進】

予算額：(29) 32, 381千円 → (30) 17, 159千円

事業概要：高校生がグローバルな視野に立って自らの考えや意見を伝え、多様な人々と協働する力を育むため、県内外の高校生等が持続可能な社会づくりに向けてディスカッション等を行う「みえ未来人育成塾」や、レベル別のオールイングリッシュセミナー、海外研修等を実施するとともに、留学を促進します。また、科学分野の知識・技能を活用して課題を発見し、解決する力を育むため、小中高生が探究的な活動を実践し、その成果を発表する「みえ自然科学フォーラム」を実施します。

⑥みえの担い手育成推進事業【基本事業名：22103 キャリア教育の推進】

予算額：(29) 43, 761千円 → (30) 27, 317千円

事業概要：小・中・高等学校を通じて、組織的・系統的なキャリア教育の推進、地域の仕事に対する児童生徒の理解促進、外部人材を活用した職場定着支援等に取り組み、地域の担い手育成を推進します。

⑦未来を拓く職業人育成事業【基本事業名：22103 キャリア教育の推進】

予算額：(29) 6, 488千円 → (30) 4, 928千円

事業概要：高校生が地域の課題解決や活性化について主体的に関わる意欲を高め、社会に参画する態度を身につけるため、県内外の高校生が集い交流する「高校生地域創造サミット」を開催するとともに、地域活性化に参画する高校生の取組を支援します。

⑧（一部新）「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業

【基本事業名：22103 キャリア教育の推進】

予算額：(29) 23, 781千円 → (30) 31, 076千円

事業概要：国際的な感覚と広い視野を持ち、何事にも果敢に挑戦し産業界で活躍できる人材を育成するため、専攻科や農業学科等の高校生を対象に海外の工場や農場等で実習を行う海外インターンシップを実施します。また、農業学科の高校生が、消費者に信頼される農業経営者や地域のリーダーになれるよう、国際レベルの農業生産工程管理手法であるGAPに関する教育を推進します。